

首都圏中央連絡自動車道 新利根川橋(下部工)東工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	基礎杭 既製杭(SC φ 1000)	杭頭補強鉄筋、中詰めコンクリート、吊り型枠は、基礎杭既製杭(SC φ 1000)にて計上するものと考えてよろしいでしょうか。	特記仕様書24-6-1(6)に示すとおりです。
2	基礎杭 既製杭(SC φ 1000)の中詰めコンクリート	中詰めコンクリートは、図面には $\sigma_{ck}=30N/mm^2$ の標記がありますが、配合が分かりません。ご教示ください。	特記仕様書24-6-1(3)3に示すとおりです。
3	捨土掘削 土砂A, B	設計図面271/280～274/280の高架下仮置き平面図の数量表より、高さを1.5mとして掘削土量を求める3,615m ³ となり、単価項目数量3,046m ³ (2,000+1,046)と一致しません。どちらが正しいのでしょうか。ご教示ください。	堀込面積箇所の土量には、捨土掘削 土砂A及び土砂Bに加え、特記仕様書24-7に示すとおり、仮設締切工に使用する土のうの土量を含みます。
4	はく落防止対策工A	表面保護工は別途発注工事(上部工)と考えてよろしいでしょうか。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
5	構造物掘削 特殊部における掘削土の搬出について	構造物掘削にて発生した掘削土は、全て実穀ストックヤードに搬出し、埋戻しは基礎杭の掘削で仮置きした高架下の土砂を使用するのでしょうか。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。
6	構造物掘削箇所における埋戻し	埋戻し土は、高架下仮置場からの搬出になりますが、上空制限がありますので、小規模施工と考えてよろしいでしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考えください。